

日 月 年 日 平成 25 年

中大連携

課 文書 管理 課

動物実験に関する検証結果報告書

審査結果報告書・検証結果報告書は、動物実験に関する検証結果報告書として提出され、審査結果報告書として提出されたものは、審査結果報告書として提出されたものと見做すこととする。

(鳥取大学)



本報告書は、動物実験に関する検証結果報告書として提出されたものについて、審査結果報告書として提出されたものと見做すこととする。

本報告書は、動物実験に関する検証結果報告書として提出されたものについて、審査結果報告書として提出されたものと見做すこととする。

本報告書は、動物実験に関する検証結果報告書として提出されたものについて、審査結果報告書として提出されたものと見做すこととする。

中大連携：関係係数

日 08 月 7 日 平成 25 年 日 月 年 日 平成 25 年

日 18 月 11 日 平成 25 年 日 月 年 日 平成 25 年

(中大連携) 課 文書 管理 課

(中大連携) 課 文書 管理 課

動物実験に関する相互検証プログラム

(国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会)

平成 25 年 3 月

平成 25 年 3 月 11 日

鳥取大学
学長 能勢 隆之 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価結果報告書
に対する検証結果を通知します。

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会
動物実験に関する相互検証プログラム
検証委員会 委員長



対象機関：鳥取大学
申請年月日：平成 24 年 7 月 30 日
訪問調査年月日：平成 24 年 11 月 27 日
調査員：喜多 正和（京都府立医科大学）
笠井 憲雪（東北大学）

検証の総評

鳥取大学は、医学部、大学院医学系研究科、医学部附属病院がある米子地区と、地域学部、工学部、農学部、連合農学研究科等がある鳥取地区に分かれており、各地区で動物実験が行われている。全学の動物実験委員会以外に、米子地区と鳥取地区において専門委員会が設置され、文部科学省基本指針に則した動物実験が適正に実施されている。特に、米子地区の生命機能研究支援センター動物資源開発分野動物実験施設においては、清浄度クラス別に厳密に入退室が管理されており、実験動物の飼養および保管体制が良く整備されている。また、動物実験計画書の審査、実験動物飼養保管施設および実験室の審査において詳細なチェックリストが作成され、効率的で適正な審査が実施されていることは高く評価できる。しかしながら、実験動物の飼養保管体制をはじめ動物実験全般において米子地区と鳥取地区におけるレベルの差が大きく、大学全体における平準化などを検討されたい。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「鳥取大学動物実験規則」が定められ、その内容は基本指針に則したものである。よって、動物実験に関する機関内規程の整備状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

4) 改善に向けた意見

「検証」に関する条項ついて追加修正等を検討されたい。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「鳥取大学動物実験規則」の中で基本指針に則した委員会の役割や委員構成等が定められ、15名の委員による委員会が全学の動物実験計画書の審査、動物実験の実施状況および結果の把握、実験動物飼養保管施設および実験室の調査、教育訓練等の実施などの体制がとられている。また、「鳥取大学動物実験委員会米子地区専門委員会規定」および「鳥取大学動物実験委員会鳥取地区専門委員会規定」により、地区毎に委員会が設置されている。よって、動物実験委員会の整備状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
4) 改善に向けた意見 特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 「鳥取大学動物実験規則」において、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等の手続きが規定され、基本指針に則した動物実験の実施体制が整備されている。また、これらの手続きに必要な各種様式が定められている。よって、自己点検・評価は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
4) 改善に向けた意見 特になし。

4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 「鳥取大学遺伝子組換え実験安全管理規定」、「鳥取大学生物災害等防止安全管理規則」、「鳥取大学放射線安全委員会規則」、「鳥取大学化学物質管理規程」など安全管理に注意を要する動物実験に関連する規程等が定められ、実施体制が整備されている。よって、自己点検・評価は妥当である。

<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>「鳥取大学生物災害等防止安全管理規則」の内容について、「病原体の危険度レベル」等一部に改訂することが望ましい箇所がある。今後、改訂を検討されたい。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。<input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>大学内に 11 か所の実験動物飼養保管施設があるが、すべての施設に管理者および実験動物管理者が定められており、基本的な管理体制が整備されている。なお、申請時においては、一部の実験動物飼養保管施設において書類の不備が認められたため、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」という自己点検・評価結果であったが、訪問調査時において、書類の不備は改善されていた。よって、実験動物の飼養保管に関する体制について、「基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。」と判断する。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>意見</p> <p>動物実験計画書の審査、実験動物飼養保管施設および実験室の審査において詳細なチェックリストが作成され、効率的で適正な審査が実施されていることは高く評価できる。</p>

Ⅱ. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

全学の動物実験委員会の他に米子地区と鳥取地区に地区専門委員会が設置され、動物実験計画の審査、実施結果に対する助言、飼養保管施設や実験室の調査、教育訓練、自己点検・評価等、基本指針や機関内規程に定められた動物実験委員会の活動が適正に実施され、議事録も保管されている。よって、動物実験委員会の実施状況について、自己点検・評価は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

動物実験計画書審査において、委員会の指摘した条件や修正箇所、さらにそれらに対する申請者の回答等の記録を整理すること等を検討されたい。

2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

基本指針や機関内規程に則して動物実験計画の立案、審査が行われ、平成 23 年度には 169 件の動物実験計画が承認されていた。また、学生実習においても計画書の申請および承認を必須としているとともに、動物実験計画書の提出時には動物実験年次報告書あるいは動物実験終了報告書の提出を義務化している。よって、自己点検・評価は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は行われていない

2) 自己点検・評価の妥当性

安全管理を要する動物実験は、法令および大学の規則に則して安全に実施されている。実験動物の検疫も適正に行われ、安全管理上の問題も生じていない。よって、自己点検・評価は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は行われていない

4) 改善に向けた意見

動物実験委員会と遺伝子組換え安全管理委員会が連携し、安全管理区域の設定などを検討されたい。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

中核的な実験動物飼養保管施設として、米子地区に動物資源開発分野動物実験施設および鳥取地区に鳥取地区動物実験施設があるが、中核的な飼養保管施設では実施できない特殊な実験を行うためにその他の実験動物飼養保管施設として9施設がある。すべての実験動物飼養保管施設において利用マニュアルが整備されているが、一部の実験動物飼養保管施設において、管理台帳などの不備が認められた。また、動物資源開発分野動物実験施設においては微生物モニタリングが適切に実施されているが、微生物モニタリングが実施されていない施設もある。さらに、鳥取地

<p>区農学部において飼養保管状況や実験状況が十分に把握されていない動物がある。よって、自己点検・評価は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>動物資源開発分野動物実験施設以外の実験動物飼養保管施設においても、動物資源開発分野動物実験施設と同様の飼養保管体制を整備するとともに、少なくともマウスやラットの繁殖を行う施設では微生物モニタリングの実施を検討されたい。また、鳥取地区農学部における実験動物の飼養保管状況や実験状況等の把握に努められたい。</p>
<p>5. 施設等の維持管理の状況</p>
<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験委員会が米子地区および鳥取地区それぞれに評価委員を任命し、すべての施設等の調査、改善点の指摘を行い、それを受けて、順次、施設や設備の補修等が進められている。生命機能研究支援センター動物資源開発分野動物実験施設において確認された一部空調の不備についても、すでに予算請求がなされ、改修が終了していた。よって、自己点検・評価は妥当な内容である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>評価委員制度を有効利用することにより常に現状を把握し、経年変化や劣化に伴う改修あるいは更新等が必要と思われる施設や設備については、今後とも、継続的に改善計画を立て、改修・更新工事等を進められたい。</p>

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

米子地区および鳥取地区の専門委員会による教育訓練が実施され、平成 23 年度の教育訓練受講者は 214 名であった。また、教育訓練の実施記録や受講者の記録等がよく整理されており、基本指針に則した教育訓練が実施されている。よって、自己点検・評価は妥当な内容である。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

平成 14 年度より、生命機能研究支援センター動物資源開発分野動物実験施設における実験動物の飼養および保管状況、利用状況ならびに動物実験規則、動物実験委員会名簿などが大学ホームページ上に公開されており、概ね情報公開は実施されている。しかしながら、動物資源開発分野動物実験施設以外の実験動物の飼養および保管状況などは情報公開されておらず、自己点検・評価報告書も公開されていない。よって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

すべての実験動物の飼養および保管状況、自己点検・評価報告書ならびに本検証結果報告書についても、ホームページ上で情報公開されたい。なお、実験動物の使用数および飼養数の公表に当たっては、一般的に理解されやすい数値で算出することを検討されたい。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

意見

災害等リスクマネジメントに関する規定またはマニュアルは一部の飼養保管施設について整備されているが、全学的な整備が望まれる。また、アナフィラキシーショック等の発生に対する対応マニュアル等も検討されたい。